



パース通信



Vo.4

今年度1年間交換教員として、オーストラリアのパースに赴任している英語科伊東が、オーストラリアや海外から見た日本についてお伝えします。

さて、皆さん。Vol.4 は、西オーストラリア州の学校について、お伝えしようと思います。

まずは、簡単にオーストラリアの教育システムについて説明をしてみます。

オーストラリアでは各州に政府があり、州ごとに法律も違えば、教育システムも違いがあったりします。西オーストラリア州では、Year1(6才)からYear10(16才)までが義務教育です。小学校にあたる Primary School が Year1~Year6 まで、中学校と高校が合わさった Senior High School が Year7 から Year12 までです。そのうちの Year1 から Year10 までが義務教育で、Year10 が終わると、就職をするか、Year11、12 と進級するかを選択することになります。大学へ進学することを考えている生徒は、Year11、12 へ進級し、大学受験の勉強をします。Year11,12 の生徒で大学進学を真剣に考えている生徒は、かなり努力をして勉強をしています。

学校は1月下旬に始まって12月中旬で終わります。4学期制で、Term1 から Term4 まであります。それぞれの Term は 10 週間あります。そして2週間の長いお休みがあります。この2週間の休みは、学校自体がありませんので、生徒も先生もみんなお休みです。

日本の高校生も定期テストが非常に重要ですが、こちらでもとても重要です。多くの生徒がしっかりと勉強をしてテストに臨みます。私が教えている日本語では、テストごとに「読む、聞く、書く、話す」の全てのテストを行いますので、相当勉強しなければいけません。どこの国でも、自分の将来を考えると、しっか



り力を身につけなければならないのは同じですね。

それでは、一般的な高校生の一日を紹介していきましょう。朝は、8時25分からいきなり授業が始まります。日本の高校のように朝の SHR はありません。その代わりに Care Group という時間が、午前中の約30分の Recess と呼ばれる休み時間の前にあります。Recess には、生徒たちも先生たちも軽食を食べたりしています。

日本の高校では、50分の授業の合間に10分の休み時間がありますが、オーストラリアでは60分の授業時間で、間の休みはほとんどありません。授業が終わると急いで次の教室へ移動しなければならないということですね。

授業は一日に5つ。お昼休みもあります。授業は15時前に終わります。

掃除をすることはありません。お掃除専門の職員がいて、掃除をしてくれますが、自分たちで掃除をしない分、ごみをゴミ箱に捨てずにその辺に捨てたりする生徒がいます。少し残念ですね。

ある高校生の時間割です。

| | |
|-------------|------------------------------|
| 8:25~9:25 | Humanities & Social |
| 9:30~10:30 | Design & Technology |
| 10:30~10:45 | Care Group |
| 10:45~11:45 | Recess |
| 11:15~12:15 | Mathematics |
| 12:20~1:20 | Japanese |
| 1:20~1:50 | Lunch |
| 1:50~2:50 | English as a second language |

社会、図工、数学、日本語、第二外国語としての英語という時間割です。オーストラリアでは小学校から第二外国語の授業が必ずあると以前お伝えしたと思いますが、この学校ではフランス語と日本語が選択できます。簡単でしたが様子が伝えられたでしょうか。

次回の通信は、「なぜ英語を勉強した方がいいのか」をお届けしようと思います。